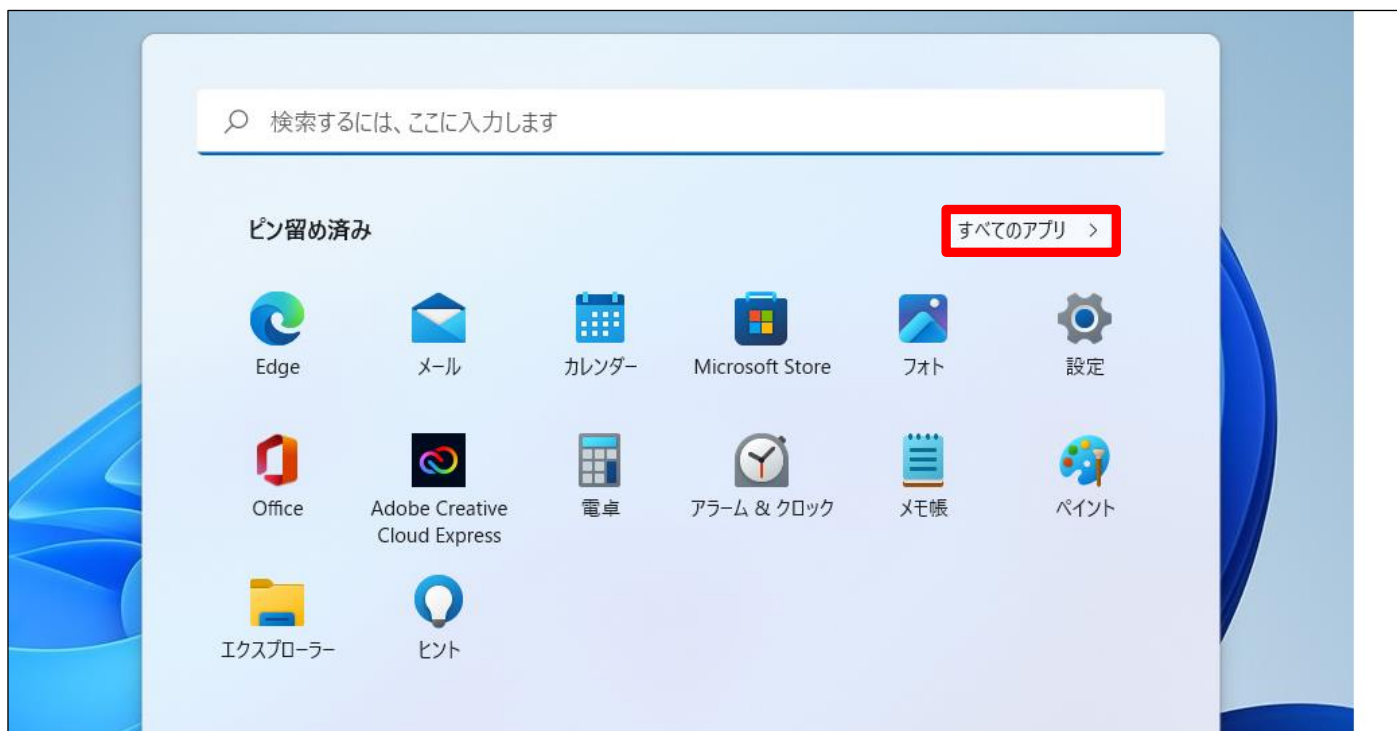


Windows Defender の有効化手順

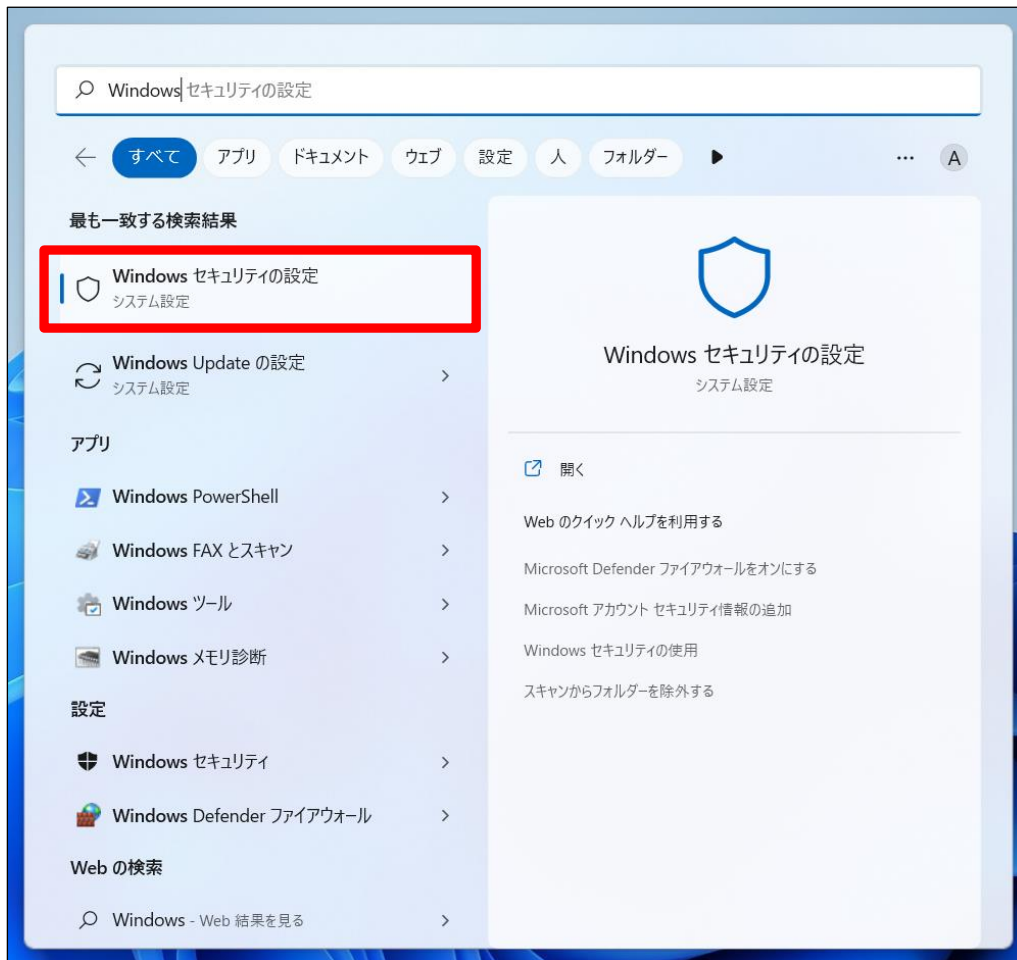
- ① Windows アイコンをクリックします。



- ② 「すべてのアプリ」をクリックします。



③ 検索バーにて、「Windows セキュリティの設定」と入力し、出てきたものを選択。



④ 「ウイルスと脅威の防止」をクリックします。



⑤ 「設定の管理」をクリックします。



⑥ 「リアルタイム保護」、「クラウド提供の保護」、「サンプルの自動送信」、「改ざん防止」の項目をオンにします。



※

リアルタイム保護・・・マルウェアを特定し、デバイスでインストールまたは実行されないようにします。

クラウド提供の保護・・・クラウド上の最新の保護データにアクセスして、より強固で迅速な保護を実現します。

サンプルの自動送信・・・潜在的な脅威から自分と他のユーザーを保護するために、Microsoft にサンプルファイルを送信します。

改ざん防止・・・重要なセキュリティ機能が他のユーザーによって改ざんされないようにします。

- ⑦ 全てが「オン」になっていることを確認したら、以上で Windows Defender の有効化は完了となります。